

読売新聞 & 早稲田大学 プロフェSSIONナルズ・ワークショップ 2019

日本の「貧困」を解決せよ！

～現場を取材し、考え、提言する～

テーマの概要

21世紀に入り、グローバル化、少子高齢化、高度情報化が進行し、さまざまな「ひずみ」が生じる中で、「貧困」の状態に置かれた子ども、若者、高齢者らが現れています。政府や自治体による施策、NPOによる支援活動など、解決に向けた動きが見られますが、まだまだ十分とは言えない状況です。「格差」が拡大し、次世代に連鎖していけば、階層の固定化を招き、社会の発展を阻害しかねません。今後、AI（人工知能）の発達で、雇用の機会が奪われることも懸念されています。

本ワークショップでは、報道の第一線で活躍してきた記者経験者とともに、貧困支援現場の取材や、新聞データベースを活用した情報収集などに取り組みながら、国内の「貧困」をめぐる現状と課題を分析し、提言をまとめます。最終的に、取材成果と提言は、読売新聞社のウェブサイトなどに掲載する予定です。社会問題の解決に意欲があり、ジャーナリストを目指している学生の参加を歓迎します。

読売新聞社とは

読売新聞社は、世界最大部数の日刊紙を発行する、日本有数の報道・言論機関です。全国に取材網を張りめぐらし、海外にも多数の取材拠点を置いています。大学生をはじめ若者の社会的関心を醸成し、未来を担うジャーナリストの育成を目指して、今年度初めて本ワークショップを実施するものです。

プロフェSSIONナルズ・ワークショップとは

企業が実際に直面している課題について、早稲田大学の学生がチームを組んで、課題解決に取り組みます。プロフェSSIONナルズの指導、監修のもと、課題抽出・分析・フィールドワーク・グループワークなどを通じて具体的な提案を導き出し、最終報告では経営トップに対し提案を行います。通常の就業体験インターンシップとは異なる、実践型の社会連携教育プログラムです。

募集概要

募集期間	2019 年 5 月 23 日（木）12:00～6 月 4 日（火）17:00 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
応募条件	原則として全ての日程への参加が可能なこと
募集人数	10 名程度
応募方法	以下の手順で申請してください。 a) https://bit.ly/2ECCiVV にアクセス b) MyWaseda にログイン c) 「2019 年度プロフェッショナルズ・ワークショップ応募フォーム」から「申請」をクリック d) 必要事項（志望理由 400 字、面接選考希望時間など）を入力して申請  こちらからもアクセス可能
選考方法	① 書類選考：志望理由をもとに選考します。 書類選考通過者には、面接日時を Waseda メールにて通知します。 ② 面接選考：6 月 10 日（月） 面接内容をもとに総合的に選考します。 面接選考の結果は、6 月 14 日（金）17:00 までに Waseda メールにて通知します。
注意事項	① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② ワークショップは原則として早稲田大学早稲田キャンパスで行いますが、読売新聞東京本社（千代田区大手町 1－7－1）や東京都内および近郊の協力団体施設等においても、活動を行う予定です。 ③ 参加にかかる費用（交通費、食事代等）は、参加者による実費負担です。 ④ 募集要項に記載されている日程は、ワークショップの進捗状況に応じて変更する可能性があります。また、募集要項に記載されているスケジュール以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、夏季休業期間中はこのワークショップの活動が中心となりますので、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ⑤ ワークショップ実施日と重複する夏季集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。 ⑥ プロフェッショナルズ・ワークショップは複数（第 2 希望まで）のワークショップに申請することができますが、最終的に参加できるのは 1 つのみです。当ワークショップを第 1 希望として申請し、選考を通過し参加が決まった場合は、その時点で第 2 希望のワークショップには参加できなくなります。 ⑦ 選考結果に関する問い合わせにはお答えしません。
問合せ先	プロフェッショナルズ・ワークショップ担当 メールアドレス：propro@list.waseda.jp

ワークショップスケジュール（予定）

	日程		内容・場所（下段）
7月	合同オリエンテーション	7月6日（土） 13:30～14:30	ワークショップ参加にあたって ※早稲田大学
	個別オリエンテーション	7月6日（土） 14:30～17:00	自己紹介、活動の概要説明、フリーディスカッション （終了後に懇親会） ※早稲田大学
8月	第1回	8月5日（月） 13:00～16:00	グループワーク ※早稲田大学
	第2回	8月上旬 終日	支援の現場を取材、ボランティア活動 第1日 ※支援団体（東京近郊）
	第3回	8月上旬 終日	支援の現場を取材、ボランティア活動 第2日 ※支援団体（東京近郊）
	—	8月16日（金） 13:00～16:00	自主グループワーク ※読売新聞東京本社
	第4回	8月20日（火） 13:00～16:00	中間報告の検討 ※早稲田大学
	第5回	8月23日（金） 15:00～18:00	中間報告会、グループワーク（終了後に懇親会） ※読売新聞東京本社
	第6回	8月30日（金） 13:00～16:00	グループワーク ※早稲田大学
9月	第7回	9月6日（金） 13:00～16:00	グループワーク ※早稲田大学
	—	9月上旬 （随時）	追加取材 ※行政機関・識者など（東京近郊）
	第8回	9月13日（金） 13:00～16:00	グループワーク ※早稲田大学
	第9回	9月20日（金） 13:00～16:00	グループワーク ※早稲田大学
	第10回	9月24日（火） 13:00～16:00 日程変更（5/23）	最終報告リハーサル ルポ記事完成 ※早稲田大学
	第11回	9月26日（木） 14:00～16:30 日程変更（5/23）	最終報告会（終了後に懇親会） ※読売新聞東京本社
10月	—	10月4日（金） 18:00～19:30	合同クロージングイベント

※全てのワークショップ終了後、自己分析シートならびにワークショップに関するアンケートを回答いただきます。

※日程は、スケジュールの都合上変更になる可能性があります。